

健康なうちに住みかえたい【住宅型】

名称	特徴	要介護度	費用目安		メリット	注意点
			入居一時金	月額利用料		
シニア向け 分譲マンション	シニア向け住宅唯一の所有権型。高齢者が生活しやすいように配慮されたバリアフリー完備の分譲マンション	自立～中度	数千万～ 数億円	10万～ 40万円 + 介護費	売却、譲渡、賃貸を自由に行うことができ、相続も可	要介護度、認知症の症状が重度化すると住み続けるのが難しくなる
シニア向け 賃貸住宅	適度な生活支援や暮らしの見守りサービスを備えた元気なシニアのための自立型賃貸住宅		数十万円	10万～ 20万円 + 介護費	高齢者が契約しやすく、比較的 low な費用で自立した居住ができる	
自立型 有料老人ホーム	食事や家事支援などのサービスが受けられるところが多い。介護サービスは別途契約		無料～ 数億円	10万～ 40万円 + 介護費	外部の介護サービスを入居者自ら選ぶことができる	利用する介護サービスごとに費用を支払うので高額になりがち
サービス付き 高齢者向け住宅 (サ高住)	安否確認と生活相談がつく。介護付きは一部で、別途契約が一般的	自立～中度	無料～ 数十万円 (介護付きは高額な場合も)	8万～ 20万円 + 介護費 (介護付きは 10万～30万円)	入居一時金が不要な住宅が大半で、退居の決断がしやすい	サービスの質は住宅ごとのばらつきが大きい
ケアハウス (軽費老人ホーム)	身の回りのことはできるが、家事など自宅での生活が困難な人向けの福祉施設	介護付きは 要支援 1以上	無料～ 数百万円 (介護付きは高額な場合も)		低額な費用で基本的な生活サービスを受けられる	住宅数が少ない。申込条件として住民登録している人を優先する地域も

※費用目安はあくまで目安の金額であり、金額を保証するものではありません。